

鳩山町の学校教育を考える

「まちづくり」は「人づくり」と言われます。将来の鳩山町を担う、こどもたちの教育について、新春対談として、亀井小学校、今宿小学校、鳩山小学校、鳩山中学校の校長先生をお迎えし、お話を伺いました。それぞれの学校教育の特色、これからの学校教育について語っていただきました(文中敬称略)。



今宿小学校
向田 正人 校長

亀井小学校
千装 将志 校長

宮崎 宣男
教育長

小川 知也 町長

鳩山小学校
浅見 敏明 校長

鳩山中学校
森田 浩幸 校長

教育長 あけましておめでとうございます。今日は町長、校長先生方と共に「鳩山町の学校教育について」お話をさせていただきます。

亀井小の伝統的な行事

町長 私は、亀井小学校(以下、亀井小)出身です。イベント「昔を学ぶ会」では、こどもたちより地域の方が大勢参加していました。

教育長 浅見先生は亀井小にもいらっしやったので、「昔を学ぶ会」はご存知ですか。

浅見 7年前まで亀井小の教頭でした。「昔を学ぶ会」は、保護者や地域の方が大勢集まっています。

千装 児童は会の最後に「縄なし」を地域の方に教えてもらいながら作ります。上の学年になるにつれ、上手になっていきます。経験を持つ地域の高齢者は、会を楽しみにしてくれています。

ですが、コロナがあったり、経験のある方が少なくなったり等、続けていくには課題もあります。

町長 亀井小のいいところは、伝統・文化をイベントという形で楽しみながら継承していくことです。伝統・文化を楽しみながら実際に触れて、自然と継承していくというのが、亀井小の魅力であると感じています。

千装 伝統的な行事が大きな特色の一つです。地域を巻き込んだ様々な取り組みをしています。

行事ではない部分にも地域の方が関わっています。総合的な学習で取り組んでいる、「田植えと「稲刈り」では泉井営農組合の方に、「グラウンドゴルフ」では泉井老人クラブ・泉寿会の方に協力をいただいています。

児童が取り組む今小まつり

教育長 今宿小学校以下、今宿小ではこういった特色ある活動がありますか。
向田 本校は全校で2000人を超え、転入生も多いです。亀井小とは対照的ですが、どちらかという新しい学校にないのかなと思います。

現在、どう特色を出していくかと模索し、取り組んでいるところです。残念ながらコロナで断ち切れてしまったものもたくさんあります。その中で地域の素材を含めた、学びというものを作り上げています。

町長 今宿小150周年イベントの今小まつりに参加しました。こどもたちが主体となって作っているイベントであると感じました。

向田 イベントでは、大人の背丈ほどのケーキを作りました。そこには児童全員の夢と学校のいいところを記入したフルーツが貼ってあります。ケーキカットをして開くと、150年間の写真が出てくるようになっていきます。こどもたちが発案して、実現させてあげたいと先生方が動いて、作り上げたものです。

今小まつりは、企画内容もゲームも、こどもたちが考えています。自主的・主体的に取り組む、大変良い行事です。



今宿小
①今宿小150周年イベントでは、児童が考案したケーキがお祝いには花を添えました。
②町職員がゲストティーチャーとして授業を行い、社会課題について考え、取り組みます。

亀井小

- ①亀井小5年生が田植えに挑戦しました。
- ②亀井小150周年を祝う会「懐かしの写真展」には多くの方が足を止めていました。
- ③少人数なので一人ひとりに目が届きます。



鳩山小の地域とのかかわり

教育長 鳩山小学校以下、鳩山小はどうでしょうか。

浅見 鳩山小では、「やさしくかしてたくましく」を教育目標に日々の学校生活を送っています。また、地域の方との交流も大切にしています。社会科見学では、身近にあるお店等を見学し、地域

にあるお店はどのように運営されているのか、お店に携わる方々の苦労は何なのかを見て、学ばせていただいています。

また、昨年は鳩山ニュータウン誕生50周年記念のニュータウン夏祭りでも鳩山音頭を一緒に踊りませんかという誘いをいただきました。当日は、高学年を中心に大勢の子が来てくれました。

ニュータウンの中でそのような取り組みがあるというのはいきなり思いません。

町長 50年間でニュータウン地区の皆さまと一緒に作り上げてきたコミュニティだと感じています。

浅見 とてもこどもたちを育ててくれていると思います。不審者の警戒情報が出た時、防犯パトロールの方たちが集まってくれました。

また、昨年は5年生が自分たちで田植えをしたお米の稲刈りを体験しました。

地域の方に田植えの仕方や稲の刈り方を教えていただく等、多くの協力をいただきました。八十八の工程や苦勞があるから、「米」という文字ができたそうです。田植えや稲刈りで体験した知識と体験はとても大切なものだと思います。

義務教育の集大成 鳩山中

教育長 鳩山中学校(以下、鳩中)も、地域連携(いっしょも含めて)積極的に実践しているイメージがあります。

森田 取り組みの途中です。先日、保育実習で3年生が幼稚園に伺いました。距離的な近さを活用し、連携すると大きなメリットがあると思います。

また、中学は職場体験があります。キャリア教育も含めた視点でいくと、職業観とともに、将来鳩山に戻ってこようという意識を高める気持ちを育てられるのかなと考えています。

町長 職場体験を通じて、町の魅力をまた知ることができそうです。

森田 全国学力学習状況調査の結果によると、県や全国と比較し、郷土を愛する気持ちが圧倒的に高いです。小学校での取り組みが、中学生になって鳩山町を愛する気持ちに繋がっていると感じます。

町長 鳩中は義務教育の集大成です。3つの小学校からそれぞれの特色を持つこともまた、鳩山町の看板

を背負って卒業するという場所です。**教育長** 鳩山町で学んだこと、出身であることに、誇りをもって卒業してくれる。そんなこともたちを育成できているのは、校長先生を中心に先生方が取り組んでくれているからだと思います。

各校が今、取り組んでいること

教育長 今宵小はどのような活動に取り組んでいますか。

向田 共同的な学びについては、多様な他者との関わりが大事だと考えます。

私が大事にしているのは町との関わりです。昨年は、町職員の方にゲストティーチャーとして授業していただき、社会の課題について、5・6年生なりに考え、取り組みました。多様な他者との関わりという点で、効果的であると考えます。

取り組んでいくか教えるべきか。

森田 生徒が通いたくなる学校づくりに引き続き取り組んでいます。学力向上と人間関係の2本柱で、魅力ある学校づくりを行っています。

赴任してからのテーマとして、

「Trial&Error」ドシマイが響く鳩中」をキャッチフレーズにしています。学校は失敗する場という前提のもと、「チャレンジする環境をみんなで作っていく」ということを生徒に伝え、意識作りをしています。

浅見 来年度、やってみたい(この)一つは、学び合いです。自分が分かったことを、隣の子に教えてあげられるようになるという教育が大事だと思います。

私の目指す学校像は、学び合いで児童を認めて、ほめて、良さを伸ばす学校です。いっしょにとって学校が、認められる



1



2

①稲刈り体験をする鳩山小5年生。自然と触れ合う学習を実施しています。
②児童が校長先生に感謝を込めてプレゼントした手作りのメダル

鳩山小

浅見 私が鳩山小の校長に赴任したとき、とにかく子どもたちが優しいなと感じました。

修学旅行では児童の発案で、体験する場所でお世話になった方に、折り紙でメダルを作って渡しました。私の分も作ってくれました。教員になって初めてだったので、とても嬉しかったです。優しさを持った、人を大事にすることができるとも感じます。

千歳 亀井小は少人数ですので、一人ひとりに目が行き届くのが最大の特色だと思います。きめ細かな指導ができ、関わりが濃いというのが大きな特色です。

6年生は、街の幸福度ランキング1位という点について、町の魅力や課題も含めて、良さを発見し、外へ発信する取り組みを行っています。町長をはじめ、ランキングに関わっている方にも来校いただいて、子どもたちがやってみたいこと

今後は、小学校と中学校の連携にさらに取り組みたい

ような場所、褒められる場所であることが、子どもたちの持つ良いところを伸ばすことになると思います。

向田 鳩山中の3大行事「一つに、3校の小学校の活動が集大成となって繋がっている気がします。私たち小学校も、精神も含めた基礎的な学びを繋げていきたいと思っています。

小さな成功体験の積み重ねが、やがて中学校を含め9年間の義務教育を通して、大きく花開いていくと思います。「できた、分かった」をいかに広げ、成功体験に繋げるかというのを今後も取り組んでいきます。

千歳 亀井小の教育目標は「あかまつ」です。町長、覚えてますか。
町長 「あかるい子」「かしこい子」「まじめな子」「つよい子」です。
千歳 そうです。校庭の赤松になぞらえて、教育目標になっています。

色々な解釈がありますが、「あかるい」は人との接し方、「かしこい」は教科も含めた色々な学び、「まじめ」は物事に真剣に取り組むこと、「つよい」は心身の健康という風に考えています。それぞれの点で、一段上に行けるようなと思っています。



一月一日(水)日直はーん

小中学校連携による外国語教育

鳩山町では、児童の実態を把握し、生徒指導面での連携を深め、英語教育の円滑な接続を図るとともに中1ギャップの解消を目的として、毎週金曜日に、鳩山中学校の英語教員が町内小学校の英語学習のサポートを行っています。

情報交換を行い、学校の先生方には授業の進め方や中学校の先生方の持つ指導スキルについて学ぶ機会を設けています。

森田 私はより、小学校と中学校の連携をしていきたいです。今年度鳩中では、町の学力向上推進委員会の取組の一環として行われた亀井小と今宵小の授業公開に参加させていただきました。今後は中学校でも授業公開を行い、教員同士の交流ができるようお互いの授業参観を行っていききたいです。

教育長 コンパクトな町だからこそ、連携をキーワードにそれぞれの強みを活かしていただきたいです。
各学校が特色ある教育を行い、子どもたちが意欲を伸ばし、輝く居場所がでけると嬉しいなと思います。

町長 各学校で学んできたことがそれぞれの点で終わってしまうと、こともたちは何を勉強して、卒業したんだろうと疑問で終わってしまいます。それぞれの点が繋がって、線になるためには、こともたちに理解してもらっただけでなく、教員も目標や目的を知ることが大切だと思います。線をより太く、明確に描けるように、連携を積極的にやっていただけたらと思います。

明るい鳩山の未来に向けて一緒にやっていけたらと思っています。これからも引き続きよろしくお願ひします。



1

鳩山中

- ①②保育実習で、鳩山幼稚園、ひばり保育園の園児と触れ合う鳩中3年生。
- ③3大行事の体育祭で応援歌を本気で歌う鳩中生徒



2



3